

県勢センバツ確定

山田高、光星 2校選出も



第76回秋季東北地区高校野球大会は22日、秋田市のこまちスタジアムで準決勝2試合が行われ、本県代表の青森山田と八戸学院光星が決勝に進出した。来春の選抜高校野球大会（センバツ）には、今大会の成績を参考に東北地区から3校を選出するため、県勢のセンバツ出場が確定となった。

【詳細11面】
第1代表の青森山田は一

関学院（岩手第1代表）に4-0、第2代表の八学光星は学法石川（福島第3代表）に1-0でいずれも完封勝ちした。県勢同士の決勝は199

6年、2015年に続き3度目で、いずれも青森山田と八学光星（1996年の校名は光星学院）が戦った。センバツ出場校選考には地域バランスも考慮され、東北地区枠が2だった96年は、優勝した光星学院と他県の3位校が出場。2015年は本県から初めて同時

に2校が選ばれた。今年と同枠が3に増加。前評判が高かった両校が順当に決勝に勝ち上がったおり、2度目の県勢2校同時出場が現実味を帯びている。センバツ出場校は、来年1月26日に開かれる選考委員会ですら正式に決定する。（本田海輝）